



町民に有効活用を(廃止が決まった熊谷保健所寄居分室)

農産物直売所のさらなる活性化を(JA男会直売所)

どう活かす かんぽの宿よりい

彩の国資源循環工場 第II期事業進捗状況

1月16日、県より彩の国資源循環工場第II期事業の計画概要について説明がありました。内容は次のとおりです。

- ・県が直接、工業団地と埋立処分場を一体的に整備(工業団地用地:11ヘクタール程度、最終処分場用地:6ヘクタール以内)
- ・事業スケジュールについて(工業団地23年度竣工予定、最終処分場25年度

に竣工予定)

事業の概算事業費や立地予定業種等の質問や、町内企業の工事参入について検討してほしい等の要望がありました。

本委員会としては、彩の国資源循環工場第II期事業の内容について了解し、今後計画に沿って事業を進めることを原に要望しました。

また、彩の国資源循環工場事業者協議会要望事項の県の検討状況について説明を受けました。

第4次三ヶ山地域開発調査特別委員会より

三ヶ山地域の開発調査について報告します

保健所分室活用

サーマルリサイクル施設 処理能力増強中止

業運営のため、指導・相談が重要」との意見が出されました。



三ヶ山の環境整備の一環として、公園整備も進んでいます



岡本安明 議員

熊谷保健所寄居分室の有効活用を

町としての再利用計画はありません

問 現在、寄居町には3障害(身体・知的・精神)の、本人やそれを支援する家族やボランティアが一堂に集える場所がありません。

県や近隣の市では、そういった交流や情報交換し合える場所の提供を、行政が積極的に行っているとのこと。

寄居町でもことし2月に、深谷・寄居地区玉淀家族会会長と寄居町身体障害者福祉会会長の連盟で、町長・議長に対して「(仮称)障害者交流センター」の設立に関する要望書が提出されました。

町として、新たに施設を建設して設立する考えはありますか。

答 現在、その考えはありません。

問 熊谷保健所寄居分室が平成22年3月に廃止されますが、町が県からこれを譲り受け、「(仮称)障害者交流センター」として活用する考えはありますか。

答 再利用計画については、県としての活用方法を総合的に検討していきたい旨、聞いています。このため、県との譲渡等の交渉はしていません。

県が町に譲渡するという方針になった場合には、原則「更地で無償」での譲渡を条件としたいと考えています。なお、町としての再利用計画はありません。



坂本建治 議員

地域農業の振興に対する重要課題は

担い手の育成・確保と、遊休農地解消です

問 地域農業の振興についての重要課題と、町の施策として何が重要と考えているか伺います。

答 もっとも大きな課題は担い手の育成・確保と遊休農地解消であり、これらの課題を解決するために、農用地利用権設定奨励金制度や農業制度資金の利子補給、遊休農地後作対策事業など、数多くの事業を行っています。今後、特産品開発などの新たな分野の開拓も課題解決につながると考えています。

問 現在の寄居町の農業を考えたとき、農産物直売所の重要性は相当なウエートを占めています。地産地消運動の拠点となり、今後団塊世代の再就職の場となり、高齢者が健康で元気に働くことによる健康保険への多大なる貢献等が考えられます。農産物直売所の振興育成及び活性化のための町の施策は何ですか。

答 直売所の整備については、地産地消を推進する中で、JA及び生産組合で作成した整備計画を実現するため、国県とともに助成を行ってきました。

今後も直売所の振興・育成・活性化について、直売所を支えている生産組合の皆さんとJAでよく話し合っただき、その結果を受けて町としてもできる限りの支援を行いたいと考えています。

遊休農地 相当の期間、農作物を作付けしていない農地

地産地消 地元で生産されたものを地元で消費すること



稲山良文 議員

かんぽの宿よりいに対する町の所見は

有益で重要な施設です

問 日本郵政は、かんぽの宿の売却を白紙撤回し、保有資産の売却ルールについて検討することになりましたが、「かんぽの宿よりい」は全国67施設中4位の黒字経営をしており、当町においても福祉施設として利用しています。このことを踏まえ、伺います。まず、当該施設について、どのような所見を持っていますか。

答 全国でも有数の利用率を誇り、町内でも屈指の宿泊施設で、町の観光の拠点としても大きな意味があります。高齢者及び障害者を中心として、温泉利用による健康増進のため、町民全員が活用可能であり、災害時における応援協定も締結し、町にとって有益で重要な施設だと認識しています。

問 この施設の取得に向けて、早い時期に検討委員会を設置することを望みますが、そのお考えはありますか。

答 町がこの施設を取得して運営していく考えはありません。

問 売却価格が2億6,000万とも9,000万とも報道されています。資産価値もあり、あらゆる角度から検討する必要があると考え、再度伺います。

答 このような施設を運営してうまくいった自治体はまれです。町にはノウハウは一切ありません。立派な施設ですが、売却問題がどうなるのかを見て、それから考えてもいいのではないかと思います。

その他の質問 埼玉県熊谷保健所寄居分室の譲渡に関する県への要望について

町政を問う！一般質問

質問者本人が要約して原稿を書いています